

学 年

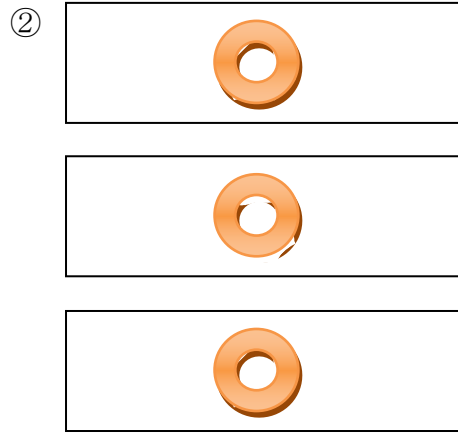
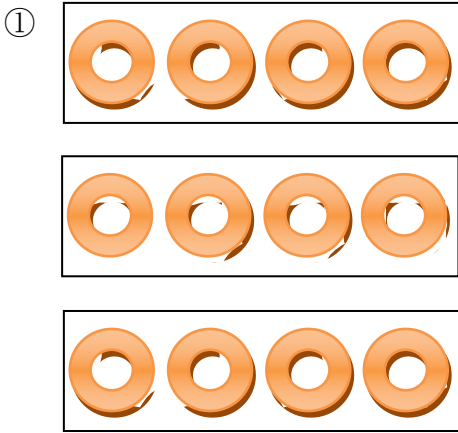
3 年

かけ算①

年 組 氏名

1 次の絵のドーナツの数をあらわすかけ算の式を下からえらんで、 にその式の記号をかき

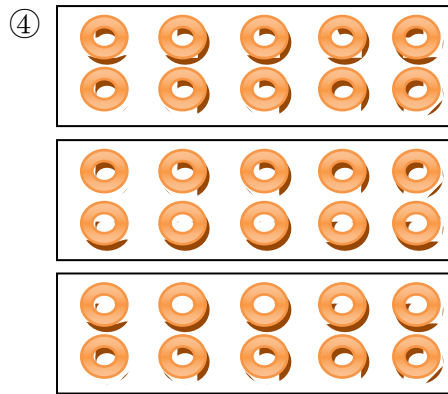
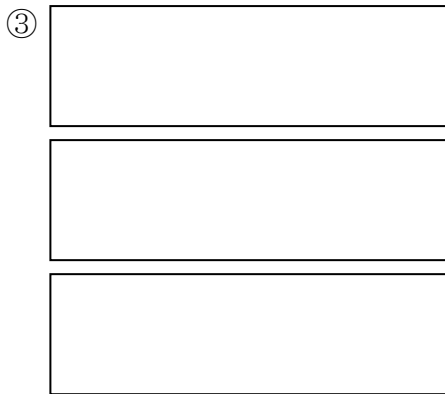
ましょう。また、( ) に計算の式をかき、答えも求めましょう。



しき  ( )      しき  ( )

答え \_\_\_\_\_

答え \_\_\_\_\_



しき  ( )      しき  ( )

答え \_\_\_\_\_

答え \_\_\_\_\_

ア	$3 \times 1$	イ	$0 \times 3$	ウ	$3 \times 4$
エ	$10 \times 3$	オ	$3 \times 0$	カ	$4 \times 3$
キ	$1 \times 3$	ク	$3 \times 10$		

学 年

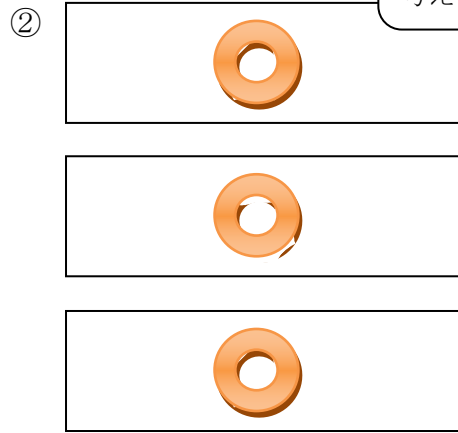
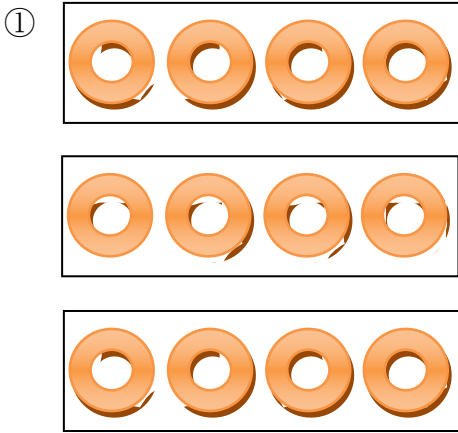
3 年

かけ算①

年 組 氏名

1 次の絵のドーナツの数をあらわすかけ算の式を下からえらんで、 にその式の記号をかき  
 ましょう。また、( ) に計算の式をかき、答えも求めましょう。

なんこずつ  
 いくつ分あるかを  
 考えよう！

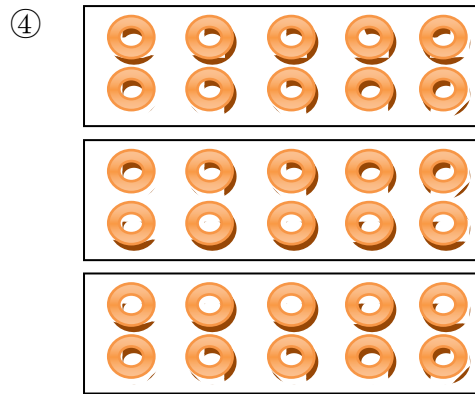


しき カ (  $4 \times 3 = 12$  )

しき キ (  $1 \times 3 = 3$  )

答え 12こ

答え 3こ



しき イ (  $0 \times 3 = 0$  )

しき エ (  $10 \times 3 = 30$  )

答え 0こ

答え 30こ

- |                            |               |                            |               |                            |              |
|----------------------------|---------------|----------------------------|---------------|----------------------------|--------------|
| <input type="checkbox"/> ア | $3 \times 1$  | <input type="checkbox"/> イ | $0 \times 3$  | <input type="checkbox"/> ウ | $3 \times 4$ |
| <input type="checkbox"/> エ | $10 \times 3$ | <input type="checkbox"/> オ | $3 \times 0$  | <input type="checkbox"/> カ | $4 \times 3$ |
| <input type="checkbox"/> キ | $1 \times 3$  | <input type="checkbox"/> ク | $3 \times 10$ |                            |              |

学 年

3 年

かけ算②

年 組 氏名

① 九九の表を見て考えています。□ にあてはまる数や \_\_\_\_\_ にあてはまることばをかきましょう。

① かける数が1ずつふえるとき、3のだんの答えは3ずつ \_\_\_\_\_ から、 $3 \times 7$ の答えは、

$3 \times 6 + \square$  で  $\square$  です。

② かける数が1ずつへると、4のだんの答えは□ ずつへるから、 $4 \times \square$  の答えは、

$4 \times \square$  の答えから4をひいて28です。

③  $8 \times 5$ の答えをわすれた！ でも、かけられる数と \_\_\_\_\_ 数をいれかえても同じ答

えになるから、 $\square \times \square$  の答えと同じで  $\square$  だということがわかります。

九九表

		かける数								
		1	2	3	4	5	6	7	8	9
かけられる数	1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	2	2	4	6	8	10	12	14	16	18
	3	3	6	9	12	15	18	21	24	27
	4	4	8	12	16	20	24	28	32	36
	5	5	10	15	20	25	30	35	40	45
	6	6	12	18	24	30	36	42	48	54
	7	7	14	21	28	35	42	49	56	63
	8	8	16	24	32	40	48	56	64	72
	9	9	18	27	36	45	54	63	72	81

2 九九の表よりも大きな数のかけ算にチャレンジしましょう。

① 5のだんの答えは、 ずつふえるから、

$$5 \times 10 \text{ の答えは、 } 5 \times 9 + \text{} = \text{} \text{。}$$

$$5 \times 11 \text{ の答えは、 } 5 \times 10 + \text{} = \text{} \text{。}$$

$$5 \times 12 \text{ の答えは、 } 5 \times 11 + \text{} = \text{} \text{ となります。}$$

② 10のだんがあるとしたら、 ずつふえます。  $10 \times 1 = \text{}$  からスタートすると、

$$10 \times 2 \text{ の答えは、 } 10 \times 1 + \text{} = \text{} \text{。}$$

$$10 \times 3 \text{ の答えは、 } 10 \times 2 + \text{} = \text{} \text{。}$$

学 年

3 年

かけ算②

年 組 氏名

① 九九の表を見て考えています。□にあてはまる数や \_\_\_\_\_ にあてはまることばをかきましょう。

① かける数が1ずつふえるとき、3のだんの答えは3ずつ ふえる から、 $3 \times 7$  の答えは、 $3 \times 6 + \mathbf{3}$  で  $\mathbf{21}$  です。

② かける数が1ずつへると、4のだんの答えは  $\mathbf{4}$  ずつへるから、 $4 \times \mathbf{7}$  の答えは、 $4 \times \mathbf{8}$  の答えから4をひいて28です。

③  $8 \times 5$  の答えをわすれた！ でも、かけられる数と かける 数をいれかえても同じ答えになるから、 $\mathbf{5 \times 8}$  の答えと同じで  $\mathbf{40}$  だということがわかります。

九九表

		かける数								
		1	2	3	4	5	6	7	8	9
かけられる数	1	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	2	2	4	6	8	10	12	14	16	18
	3	3	6	9	12	15	18	21	24	27
	4	4	8	12	16	20	24	28	32	36
	5	5	10	15	20	25	30	35	40	45
	6	6	12	18	24	30	36	42	48	54
	7	7	14	21	28	35	42	49	56	63
	8	8	16	24	32	40	48	56	64	72
	9	9	18	27	36	45	54	63	72	81

② 九九の表よりも大きな数のかけ算にチャレンジしましょう。

④ 5のだんの答えは、**5** ずつふえるから、

$$5 \times 9 = 45$$
$$45 + 5 = 50 \quad \text{ですね。}$$

5 × 10の答えは、5 × 9 + **5 = 50**。

$$5 \times 10 = 50$$
$$50 + 5 = 55 \quad \text{ですね。}$$

5 × 11の答えは、5 × 10 + **5 = 55**。

$$5 \times 11 = 55$$
$$55 + 5 = 60 \quad \text{ですね。}$$

5 × 12の答えは、5 × 11 + **5 = 60** となります。

⑤ 10のだんがあるとしたら、**10** ずつふえます。 10 × 1 = **10** からスタートすると、

10 × 2の答えは、10 × 1 + **10 = 20**。

10 × 3の答えは、10 × 2 + **10 = 30**。

学 年

3 年

かけ算③

年 組 氏名

1 (1) 次の計算をしましょう。

$12 \times 4 =$

(ひっ算)

×		

(2) この筆算は、 $12 \times 4$ を2つの計算に分けて計算して、あとで2つの答えを合せています。どんな計算に分けていますか？

( )  $\times$  ( ) = ( )

( )  $\times$  ( ) = ( )



( ) + ( ) = ( )

(3) このことを下の図を使って説明しましょう。

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○

○ ○

○ ○

○ ○

○ ○

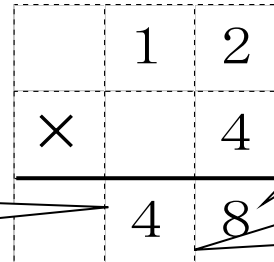
学 年

3 年

かけ算③

1 (1) 次の計算をしましょう。

$$12 \times 4 = 48$$



10に4をかけて、40。

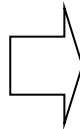
2に4をかけて、8。

10×4、2×4の  
どちらからけいさん  
しても、できますね。

(2) この筆算は、12×4を2つの計算に分けて計算して、あとで2つの答えを合わせます。どんな計算に分けていますか？

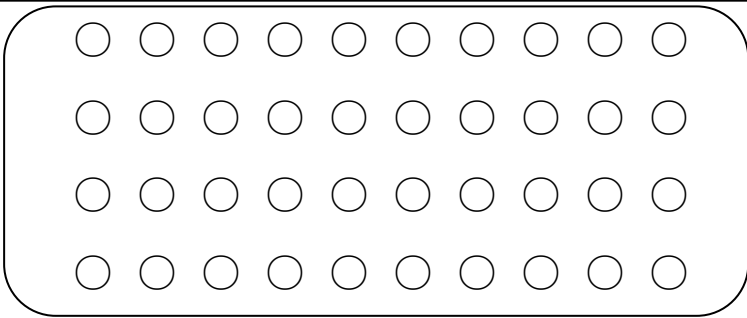
$$( 2 ) \times ( 4 ) = ( 8 )$$

$$( 10 ) \times ( 4 ) = ( 40 )$$



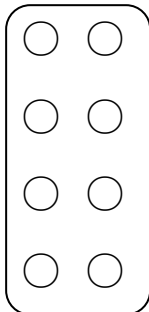
$$( 8 ) + ( 40 ) = ( 48 )$$

(3) このことを下の図を使って説明しましょう。



10が4つで

$$10 \times 4 = 40$$



2が4つで

$$2 \times 4 = 8$$

合わせて、 $40 + 8 = 48$

答えは48になります。



学 年

3 年

## かけ算④

年 組 氏名

1 次の ( ) にあう数字をかきましょう。

①  $24 \times 5$  の計算は

( )  $\times 5$  と  $20 \times$  ( ) に分けて計算して、2つの答えをあわせませす。

$$( ) \times 5 = ( )$$

$$20 \times ( ) = ( )$$

( )  $+$  ( )  $=$  ( ) で 答えは ( ) です。

これをひとつの式にかくと

$$( ) \times 5 + 20 \times ( ) = ( ) \text{ です。}$$

②  $325 \times 4$  の計算は

( )  $\times 4$  と  $20 \times$  ( ) と  $300 \times$  ( ) に分けて計算して、

三つの答えをあわせませす。

$$( ) \times 4 = ( )$$

$$20 \times ( ) = ( )$$

$$300 \times ( ) = ( )$$

( )  $+$  ( )  $+$  ( )  $=$  ( ) で 答えは ( ) です。

これをひとつの式にかくと

$$( ) \times 4 + 20 \times ( ) + 300 \times ( ) = ( ) \text{ です。}$$

③同じように考えれば、千の位のかけ算もできます。

4 1 2 3 × 2 の計算は

( ) × 2 と 2 0 × ( ) と ( ) × 2 と 4 0 0 0 × ( )

に分けて計算して、四つの答えをあわせればできます。

$$( ) \times 2 = ( )$$

$$2 0 \times ( ) = ( )$$

$$( ) \times 2 = ( )$$

$$4 0 0 0 \times ( ) = ( )$$

$$( ) + ( ) + ( ) + ( ) = ( ) \quad \text{で}$$

答えは ( ) です。

④これを、ひとつの式にかくと、

$$3 \times ( ) + 2 0 \times ( ) + 1 0 0 \times ( ) + 4 0 0 0 \times ( )$$

$$= ( ) + ( ) + ( ) + ( )$$

$$= ( )$$

学 年

3 年

## かけ算④

1 次の ( ) にあう数字をかきましょう。

①  $24 \times 5$  の計算は

( 4 )  $\times$  5 と  $20 \times$  ( 5 ) に分けて計算して、2つの答えをあわせませす。

$$( 4 ) \times 5 = ( 20 )$$

$$20 \times ( 5 ) = ( 100 )$$

$$( 20 ) + ( 100 ) = ( 120 ) \quad \text{で 答えは } ( 120 ) \text{ です。}$$

これをひとつの式にかくと

$$( 4 ) \times 5 + 20 \times ( 5 ) = ( 120 ) \text{ です}$$

上の式を合わせるだけだよ。

②  $325 \times 4$  の計算は

( 5 )  $\times$  4 と  $20 \times$  ( 4 ) と  $300 \times$  ( 4 ) に分けて計算して、三つの答えをあわせませす。

$$( 5 ) \times 4 = ( 20 )$$

$$20 \times ( 4 ) = ( 80 )$$

$$300 \times ( 4 ) = ( 1200 )$$

$$( 20 ) + ( 80 ) + ( 1200 ) = ( 1300 ) \text{ で 答えは } ( 1300 ) \text{ です。}$$

これをひとつの式にかくと

$$( 5 ) \times 4 + 20 \times ( 4 ) + 300 \times ( 4 ) = ( 1300 ) \text{ です。}$$

上の式を合わせるだけだよ。

③同じように考えれば、千の位のかけ算もできます。

4 1 2 3 × 2 の計算は

( 3 ) × 2 と 2 0 × ( 2 ) と ( 1 0 0 ) × 2 と 4 0 0 0 × ( 2 )

に分けて計算して、四つの答えをあわせればできます。

$$( 3 ) \times 2 = ( 6 )$$

$$2 0 \times ( 2 ) = ( 4 0 )$$

$$( 1 0 0 ) \times 2 = ( 2 0 0 )$$

$$4 0 0 0 \times ( 2 ) = ( 8 0 0 0 )$$

万の位になっ  
てもできそう  
だね。

$$( 6 ) + ( 4 0 ) + ( 2 0 0 ) + ( 8 0 0 0 ) = ( 8 2 4 6 ) \quad \text{で}$$

答えは ( 4 2 4 6 ) です。

④これを、ひとつの式にかくと、

$$3 \times ( 2 ) + 2 0 \times ( 2 ) + 1 0 0 \times ( 2 ) + 4 0 0 0 \times ( 2 )$$

$$= ( 6 ) + ( 4 0 ) + ( 2 0 0 ) + ( 8 0 0 0 )$$

$$= ( 4 2 4 6 )$$

になります。